

東奥日報

2021年(令和3年)9月28日(木曜日) (14)

新ロゴ 貝塚さん(八工大)選出

ハ 戸 日本蘚苔類学会が創立50周年を記念して制定した新ロゴマークに、八戸工業大学創生デザイン学科4年の貝塚彩乃さん(21)の作品が採用された。ルーペでコケを観察する体験をデザインしたもので、蘚苔類(コケ類)に関する研究者や専門家、一般の愛好家らが加入する同学会のマークであることが「直感的に分かる」などと高い評価を受けた。貝塚さんは「選んでいただきうれしい」と喜びを語った。

(千葉真由美)

日本蘚苔類学会 50周年記念



コケ観察ルーペに着眼

同学会は1972年創立。50周年に合わせて一新するこもともともコケの一種「タマゴケ」をモチーフにしたロゴマークがあったが、来年の創立で貝塚さんの作品を選出。今

月4日の第50回宮崎オンライン大会総会で、新ロゴマークを発表した。

貝塚さんは5月下旬から約1カ月かけ、同大創生デザイン学科長の高屋喜久子教授と同大生命環境科学科の鮎川恵理准教授(同学会広報幹事)のアドバイスを受けながら作品を制作。研究者が常に持ち歩くルーペを象徴化し、ルーペをのぞいた時のワクワク感が伝わるようにとレンズの中にタマゴケを入れたという。

当初は虫眼鏡をモチーフにしていたが、鮎川准教授の助言でコケ観察用のルーペにデザインを変更。色や形などの視認性も重視し、「納得のできるデザイン」(貝塚さん)が完成した。鮎川准教授は「ルーペは私たち研究者の必需品。私たちの行動に目を向けたロゴマークを作ってくれて、他の研究者も喜んでいて、他の研究者も喜んでいて、他の研究者も喜んでいて、他の研究者も喜んでいて」と語った。

日本蘚苔類学会の新ロゴマークに採用され、同学会からの表彰状を手に作品の横に立つ貝塚さん